

この人あんが ステンドグラスづくり



現在、市内を中心に生徒さんもおられ、ステンドグラスづくりの普及にもご尽力されています。

足立真由美さん（城山）
今号は、ステンドグラスづくりをされている城山の足立真由美さんを訪ねました。足立さんはステンドグラスづくりを始められて15年。ルーター・ハンダゴてなど専用工具を備えた自宅工房で、多くの作品を生み出されています。

ステンドグラスづくりは、作品の構想設計から始まります。専用ガラスのどの部分をカットし、どのように組み合わせるのか考えを巡らせています。構想が決まればガラスをルーターでカット、エッジに銅テープを張ってハンダ付けでつないでいきます。規模の大きいものは1個作るのに3か月以上かかることもあるそうです。完成した作品に光を通し、思った通りの美しい輝きを見ると、これまで作業してきた苦労も吹き飛びます。

箒巻ふれあいまつり&あんがーるず秋のコンサート



10月13日（日）、晴天にも恵まれ、箒巻ふれあい祭りとのコラボで「あんがーるず秋のコンサート」を開催しました。

午前11時、無量寺にて沖繩三線の演奏。風の音、木々の香りを感じながら、日常の忙しさを忘れ至福の時間を過ごしました。

正午からは会場を公民館に移して「ふれあい祭り」と合流。あんがーるずによるカレー、自治会による焼きそば・フランクフルトなど食事の提供を行いました。

午後3時前からは淑徳高校和太鼓部が力強い音色を会場いっぱいに響かせて観客の心を魅了、参加者全員元気をもらいました。

今回は地域の中に入らせていただき、相互に顔を合やす良い機会になったと思います。庵我の皆さん、箒巻の皆さん、ご協力をいただきました皆さんありがとうございました。

あんがーるず代表 植村玲子

庵我神社神輿巡行



10月13日（日）、庵我神社例大祭のメイン行事「神輿巡行」が行われました。今年の当番は猪崎自治会。数か月前から企画・人集め・準備を行い、万全の体制で臨みました。

当日は、大人神輿40名、子供神輿40名、その他交通整理や食事準備など総勢120名で対応。神輿は午前9時庵我神社を出発、各自治会を順に回り、午後3時に無事庵我神社に戻りました。巡行した全ての自治会で歓待いただき、ご来場皆さんとの交流を深め、それぞれ楽しんでいただけたと思います。関係者皆様大変お疲れさまでした。

来年は城山自治会に当番をお願いすることになります。

編集後記

秋の紅葉はあっという間に過ぎ、厳しい冬の季節がやってきました。

今年度中に庵我会館は自治会に委譲を受け、庵我まちづくり協議会も名実ともに自立することになります。「庵我ならではの何かができるか」今年も試行錯誤の一年になりそうです。「こんなことやってみよう」などアイデアがありましたら是非事務局までお寄せください。

ホームページ掲載写真を募集します。
テーマ：冬の庵我（景色やイベント）
タイトルに「冬の庵我投稿」と記載いただきメールで送付ください。送付先：angaianga8@gmail.com

庵我まちづくり協議会事務局

〒620-0014 京都府福知山市字中2098-2 庵我会館内
メール：angaianga8@gmail.com
HP：https://www.angaii.com
Facebook Instagram YouTube：あんががいいあんが



庵我まちづくり協議会広報誌

あんが新聞

第9号
No.011

発行日：令和7年1月15日
編集＆発行：庵我まちづくり協議会
メール：angaianga8@gmail.com
HP：https://www.angaii.com

あけましておめでとうございます



天神神社・高野神社（箒巻）



八坂神社（安井）



庵我神社

三段池から見た雪の鬼ヶ城と烏ヶ岳

令和7年 協議会満1歳を迎えます!!

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お元気に新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より庵我まちづくり協議会の活動に对您ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は4月1日協議会発足より「庵我まちづくり協議会事業計画」に基づき多くの事業や活動を行ってまいりました。

■生活基盤部会は、住民の安心・安全、快適な暮らしを確保するための支え合い活動や地区の防災への取組の実施など

■地域活性化部会は、地域のお寺と連携したイベントの開催、花咲く庵我の実施など

■移住促進部会は、空き家調査と空家バンクへの登録の推進、京都府の移住促進特別地域の指定を受けるための申請活動の実施など

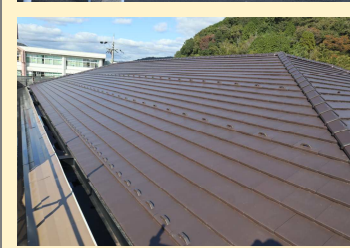
■広報部・事務局は、庵我新聞の発行、HP及びSNSの更新・管理、庵我ファンクラブの参加者の募集や対応など

ほぼ計画通りの活動ができました。これは住民の皆様や関係団体の方々のご支援とご協力のおかげと感謝しています。

また、庵我会館の移譲は改修工事が完了し、3月末までに福知山市より庵我自治会に譲渡される予定です。

本年は、各部会の活動の継続に加え「地域人材の育成」「庵我会館の積極的活用」に取り組みます。また、地域資源の活用と自主財源の確保のための「特産品開発プロジェクト」を「成」します。さらに庵我の伝統文化を引き継ぐ「藍栽培」も検討中です。本年も、庵我まちづくり協議会一丸となり活動を推進してまいりますので住民皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

庵我まちづくり協議会会長 大嶋 哲朗



工事時の庵我会館と屋根葺き完成写真

庵我会館改修完了!
お気軽にお越しください

10月よりスタートした福知山市より庵我会館移譲のための改修工事が完了しました。改修いただいた内容は次の通りです。

- ・大屋根葺き、軒天改修
- ・玄関ポーチ軒天改修
- ・1階壁面クロスを貼替
- ・大便器洋式化
- ・2階全エアコン取替え
- ・1階事務エリアエアコン新設
- ・2階ホール物置建具改修

庵我への正式な移譲は、諸手続きが完了する来年3月の予定です。

改修にあたり、波多野芳樹さん・千鶴美さんより調理室に冷蔵庫をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

庵我会館前歩道工事は来年2月まで続きますが、車は庵我小学校側から入れますので、リニューアルされた庵我会館には是非お越しください。コーヒー準備してお待ちしています。

■事務所オープン 月水金10時～15時

部会紹介シリーズ③

あながまちづくり協議会 3部会の取組み紹介

— 移住促進部会の取組み紹介 —

部会紹介シリーズは今回で最終回、移住促進部会の紹介をさせていただきます。

庵我地域が抱える課題に、『地域の空き家の増加』があります。移住促進部会は『庵我地域の空き家を放置することなく移住を促進して新たなコミュニケーションと活力を創る』ことをめざして取り組んでいます。

今年度は■空き家への移住を促進する■京都府の移住促進特別地域指定を受ける この2点に重点を置いて活動をしてきました。

■空き家への移住を促進する

①市街化調整区域の空き家への対応
(中・池部・安井・菅巻・猪崎の一部)
各地区を調査した結果、廃屋以外で23件の空き家がありました。空き家所有者さんの住所と連絡先を調べ、空き家をどうする予定なのかの問合せをして返事があった14件について『空き家バンク』への登録をお願いしました。

※空き家バンクに登録できるのは市街化調整区域の空き家です

12月末現在、空き家バンクに登録中物件が4件、登録に向けて福知山市と打合せ中4件、所有者さんが登録を検討中6件です。

今後も継続して、空き家の所有者さんに空き家バンクへの登録の声掛けを実施して空き家の有効活用を目指します。

②市街化区域の空き家への対応
(猪崎、城山、下猪崎、中村回地)
各地区を調査した結果、廃屋以外で36件の空き家がありました。空き家の所有者の住所と連絡先の調査はほぼ終了しましたので、今後は所有者さんへの接触を行う予定です。空き家や所有者さんの調査は各自治会長さんや近隣の住民の皆さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。

■京都府の移住促進特別地域(移住特区)指定を受ける

この指定を受けられるのは市街化調整区域だけですが、申請は庵我地域として行います。移住特区に指定されると「移住先として選ばれやすくなり空き家の活用が進む」「空き家の改修費に対する補助金が活用できる」などメリットがあります。

現在、移住特区の申請書類の作成中で1月中旬に提出し3月中旬には公示予定です。住民の皆様には移住特区申請の合意形成にご協力をいただきありがとうございます。

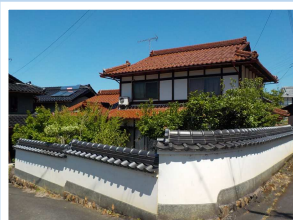
空き家対策はとにかく早い対応が必要です。今期も庵我地域として空き家の活用を継続して行なってまいりますので、新たな地域の空き家情報があればご連絡をいただきますようお願いいたします。

引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

庵我まちづくり協議会
移住促進部会部長
濱 友啓



移住促進部会
副部長 西上康彦
移住促進部会
部長 公庄仁
移住促進部会
部長 濱友啓



福知山市「空き家バンク」で公開されている庵我地域物件

由良川藍の一年 一福知山藍同好会&庵我小学校一



庵我まちづくり協議会の暖簾をご寄贈いただきました

あなが新聞第6号で紹介しました福知山藍同好会。600年前から庵我由良川流域で行われていた藍栽培を復活し、それを使った藍染を行い、伝統を継承されています。

今年度は庵我小学校3年生児童に、校内の畑を使って藍栽培から藍染までを体験してもらう授業を実施されました。

一般的に藍染は①農業としての藍栽培②すくもづくりの藍師③藍染を行う染屋と分業で行われることが多いので、なかなか全工程を体験することができません。藍同好会のご指導の下、この全てを体験できた子供たちは由良川藍の歴史に触れ、藍染めの魅力を感じてくれたことと思います。

来年度は、庵我まちづくり協議会でも庵我地域の畑で藍栽培を行い、庵我会館内で藍染をやりたいと計画中です。ご協力いただける方、是非事務局までご連絡ください。

藍栽培～藍染までの全工程

①種まき (3月中旬)



前年度収穫した種をまく

②発芽 (4月上旬)



種まきから10～20日で発芽

③定植 (5月上旬)



50cm間隔に5本づつ植える

④成育 (～8月)



7・8月頃には70～80cmくらいに成長

⑤刈取り・乾燥 (7～8月) ⑥すくも作り (9・10月)



刈取った葉を乾燥させる



乾燥葉を発酵させ染液の原材料「すくも」を作る

⑦染液作り (都度)



天然の材料で染液を作る(毎日かき混ぜる)
⇒この染液で布を染める

⑧種取り (10～11月)



藍の花が咲き、実をついたら種を収穫する



「庵我食堂“庵”」開催！庵我小学校子どもたちを招待



12月24日(火)、庵我小学校児童および保護者・教職員皆さん78名を「庵我食堂“庵”」(庵我会館内)にお招きし、終業式の日の昼食を楽しんでいただきました。

住民皆さんの貴重な寄付金で成り立つ「庵我子ども基金」の趣旨は「地域の子どもは地域で見守る」ことです。この趣旨に沿って開設した「庵我食堂“庵”」で庵我の美味しいお米で作ったカレーライスとクリスマスに合わせたケーキを提供しました。

開催1か月前に実行委員会を結成、お米は北村実行委員長から提供いただいた庵我産「京式部」。人參は安井の塩見美智子さんからの提供です。「とつてもおいしい」と子供たちに大好評。かなり多めに炊いたご飯はあつという間に空っぽになりました。

食事後、子どもたちから実行委員・スタッフに歌のプレゼントがありました。参加した子供たちに庵我地域の中で育っていることを感じる機会になってくれればと願っています。「庵我食堂“庵”」は今後も継続して開催していきます。